

未来ファンドおうみ通信

No.33

2023年度



未来ファンドおうみ助成事業 成果発表会を開催します！！

淡海ネットワークセンターでは、「未来ファンドおうみ」助成事業を通じて、滋賀県内で地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体を支援しています。このたび、2023年度に助成を受けた19団体に事業の成果を発表いただきます。

- ◆日 時：2024年5月18日(土) 13:00～17:00 (予定)
- ◆会 場：滋賀県立県民交流センター207会議室(ピアザ淡海2階)
- ◆助成団体：おうみネット123号の最終ページをご確認ください。



2022年度成果発表会の様子 (2023.5.14)

■お問い合わせ先■ 淡海ネットワークセンター
(公益財団法人 淡海文化振興財団)
〒520-0801大津市におの浜 1-1-20 (ピアザ淡海 2 F)
TEL : 077-524-8440、FAX : 077-524-8442
E-mail: office@ohmi-net.com HP: <https://www.ohmi-net.com/>



2023年度 助成団体の活動

びわこ市民活動応援基金（地域活性化事業）

特定非営利活動法人米原市多文化共生協会



採択事業は、「悩みを話して共有する場の提供 エスパッツ アルコ イリス 米原」です。この事業では多くの外国籍市民の方が、言葉の壁や地域での交流機会がないことにより、子育てや教育関係において様々な悩みを抱えています。この事業では、昨年度より「エスパッツ・アルコ・イルス米原」（虹の広場）を開設し、外国にルーツを持つ児童・保護者の居場所や、コロナ禍で様々な悩みを抱える親子が悩みを話し合う場、外国籍の子ども達が日本の子ども達と交流する機会を提供しています。夏はサンバイベント、冬の親子クリスマス会イベントを通じて、さらなる支援へつなぐとともに、日本の文化や地域の子どもたちとの交流によって、日本への理解も深めています。

びわ湖の日基金

神田山を守り育てる会

採択事業は、「里山神田山をみんなの力で魅力ある地域資源として守り育てる事業」です。

里山神田山は近年、住民の暮らしとの関わりが薄くなり、樹木や雑草などの管理も行き届かず、人々は立ち入ることすらなくなっています。この事業では、地域の団体や住民と一緒に樹木の伐採や下草の除草等、神田山の再整備を行い、住民の憩いの場づくりを進め、里山を活かした事業を展開しています。今年度は神田山の端材を活かした木工体験教室やドローンを使ったイベントなどを開催し、多くの方に神田山の事を知っていただくことができました。



げんさん食育NPO基金

特定非営利活動法人 滋賀自閉症研究所たんぽぽ



この事業は滋賀県ネットワークセンターの企画・運営・サポート（げんさん食育NPO基金）から助成を受けて実施します。



採択事業は「自閉症児が楽しく参加できる料理教室（作業所での体験学習）」です。

自閉症の人は、馴染みのある食べ慣れたもの以外を口にすることに抵抗があるケースが多くあります。この事業では、自閉症の子どもたちが、わかりやすい環境の中で、自分の好きなものを自ら調理することで食の楽しさを知り、食への関心を高めます。また、他人からの強制ではなく本人の楽しみとすることで調理への関心を持ち、一通りの工程をひとりでやりきる活動を経験することで自信をつけていきます。今年度は3回実施され、3回目を3月26日に開催予定です。



びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

東近江あらゆる場面で木を使う推進協議会

採択事業は、「100年の森づくりビジョン びわ湖源流の森あらゆる場面で木を使うプロジェクト」。

この事業では、東近江産の木材を使用した玩具や材料による木育パークを実施し子ども達をはじめ多くの人々が木に慣れ親しむ場を提供します。これにより森林や自然環境の大切さを学ぶ機会とするとともに、豊かな心や生きる力を育むことをめざしています。今年度は、木育パークのパッケージ化や木育パーク普及のための広報活動も進めています。

通信がお手元に届く頃となりますが、3/2.3にアルプラザ堅田店にて木育ミニパークと日替わりワークショップを開催されます。お近くに行かれた際には、ぜひご参加ください。



湖国文学活動応援むらさき基金

鳩の会



採択事業は、「日野俳句を次世代に伝え、日野の活性化につなげたい」です。日野町では多くの俳人が俳句文化をつないできました。しかし、かつては100人を超していた俳人も、高齢化が進み半数以下に激減しています。この事業では、日野俳句の振興と町の活性化を目的に、ひな祭俳句大会や、小学校への俳句の出張授業などを開催し、活動を通じて多くの子どもたちに俳句の楽しさ、面白さ、言葉の美しさを知ってもらい、日野俳句の継承を図っています。

今年の「日野ひな祭り紀行」は3月10日まで。句短冊はその期間中、戸毎にあり、投句箱も期間中設置されています。この期間中に日野を訪れてみてはいかがでしょうか。

笑顔あふれるコープしが基金

いちあわあ

採択事業は、「まなびからつながる堅田の居場所」です。共働きの保護者が多く、子どもがゲームや動画などに接する時間も増加し、子どもたちに家事などの生活に必要な知識や知恵を教える時間を取ることが難しくなっています。この事業では、地域の子どもたちに、自立した生活に役立つ知識や知恵、社会性のまなび、働く体験の機会などを提供します。また、おしゃべり会を実施し、保護者や地域の大人が、子どもや学校、仕事や家事などの困りごとを互いに話したり聞いたりする場を設け、今年度も様々な事業、イベントを開催しました。今年度最後のイベントとして『マイぞうきんを作ろう』を予定されています。

